6月23日（火）
災害時における応援協定締結式

宿泊施設と物資を災害に備えて

本市は、米沢市旅館ホテル組合、および山形市で段ボール製品の製造販売を行う東北カートン㈱と、災害時における応援協定を締結しました。

大規模災害が発生した場合、旅館ホテル組合では、要配慮者やその家族などに対して、組合員の施設を福祉避難所として提供していきます。また、東北カートン㈱では、段ボール製簡易ベッドなどの製品を優先的に市に提供し、避難所の設営が円滑に進むように協力していきます。

6月26日（金）
6月定例会 かりゆし議会

涼しく華やかにかりゆし議会

市議会6月定例会の最終日に、本会議出席者がかりゆしウェアを着用する「かりゆし議会」が行われました。

姉妹都市である沖縄市との交流を広く知ってもらおうと開催しているかりゆし議会は、今年で2年目を迎えました。

かりゆしウェアは沖縄の県産品で、華やかさに加え、涼しさと着心地の良さが特徴です。市では、クールビズの一環としても職員のかりゆしウェア着用を推進しています。

7月3日（金）
優秀建設工事技術者表彰式

卓越した技術で市の発展に寄与

市発注で令和元年度完成工事のうち、優秀な成績を収めた現場代理人・主任（監理）技術者9人を表彰しました。

受賞者：佐藤梓（さとうあずさ）さん（金子建設工業㈱）、八巻良裕（やまきよしひろ）さん（山建工業㈱）、長谷部広治（はせべこうじ）さん（㈱竹田組）、佐藤和彦（さとうかずひこ）さん（米木建設㈱）、後藤英里子（ごとうえりこ）さん（山建工業㈱）、原田久美（はらだひさみ）さん（㈲宮村産業開発）、髙橋聡志（たかはしさとし）さん（㈱広工務店）、田中竜大（たなかたつひろ）さん（㈱網代建設）、安達克典（あだちかつのり）さん（東北電機鉄工㈱米沢営業所）。

7月5日（日）
米沢市民芸術祭 開幕式

米沢の文化芸術振興を願って

米沢市民芸術祭の開幕式がナセBA市民ギャラリーで開かれました。今年で56回目を迎える市民芸術祭。例年、1年間にわたって展示やステージイベントが行われていますが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、開催を見送っていました。

再開の特別企画として、米沢市芸術文化協会会長が表彰する四賞（協会賞、文化功労賞、奨励賞、特別賞）受賞者の作品が展示され、来場者を楽しませていました。

広告

ふるさとの味を楽しもう
ご家族・ご親族のお集りに上杉城史苑のお料理をお届け

季節の松花堂弁当
税込2,160円～

ご注文は2日前まで

オードブル（4人前）
税込5,400円～

米沢・山形土産なら上杉城史苑におまかせ

季節のごあいさつに選べる楽しさごつつお伝ギフト

お取り寄せネットショップ

ご予約・お問合せは
上杉城史苑
TEL 0238-23-0700
米沢市丸の内1丁目1-22
https://uesugijoshien.jp
info@uesugijoshien.jp

7月16日（木）

市内で紫陽花が見頃に
今年もきれいに咲きました

梅雨で雨の日が続き、外に出るのも億劫（おっくう）になる季節の中、紫陽花が市内各地で見頃を迎えていました。

米沢には「紫陽花寺」と呼ばれ親しまれている笹野観音や堂森善光寺、瑞雲院といった場所があり、様々な場所で紫陽花を楽しむことができます。晴れ間を見て、写真を撮りに足を運んでいる人も見受けられました。青や紫、ピンクなど色とりどりの紫陽花。厚い雲に覆われた空とは対照的に、鮮やかな紫陽花がまちに彩りを与えていました。

編集後記

特集の取材で大平温泉滝見屋旅館にお邪魔し、秘湯を守り続ける若女将安部さんの熱い思いをお聞きすることができました。携帯の電波が届かないような大自然の中にある秘湯。日々の雑念を忘れ、普段味わえないような自分だけの時間を過ごせそうですね。

このような時こそ、みなさんも「新しい生活様式」を実践しながら、まずは身近な地域へ出掛けてみませんか。

（鈴木）

市・長・コ・ラ・ム

先人たちの想い「草木塔が林業遺産に」

私たちの生活のなかには、慣習や知恵としての崇拝があります。

新型コロナウイルス感染症の確実な治療法がなく、世界中が不安に怯える今、疫病を予言し退散させるという妖怪アマビエなど、先人の疫病対策である慣習や崇拝が改めて注目されています。

本市赤芝町の羽黒神社境内には、明治12年に全国でコレラが大流行した際に建立された虎列刺菩薩（コレラ菩薩碑）が今も残ります。この碑には慰霊やコレラの終息祈願のほか、「一村安全」という村の共同体を守りたいとの願いも込められているとのことで、感染症を恐れる現代にも通ずる願いといえます。

疫病祈願以外にも、先人が遺したものが本市にはたくさんあります。今年5月、「米沢市の山と暮らしを伝える遺産群：草木塔群と木流し」が日本森林学会の林業遺産に認定されました。草木塔には草木の「いのち」から恩恵を受けて生活していることに感謝し、草木の魂までも供養する気持ちが込められています。全国的にみても江戸時代建立の草木塔はほとんどが置賜地区に集中しています。米沢から発信された草木塔、自然崇拝の精神は、現代においても生活に活かしていかなければなりません。

なお、先人の想いが込められた市内の様々な遺産は、後日改めて広報よねざわで紹介したいと思います。

米沢市長　中川勝

広告
9月12日（土）13日（日）【9:00～17:00】
高畠町下和田地内にて 新築完成見学会 OPEN!
～子育ての工夫がつまった平屋のように暮らせる「ママエールの家」～
★詳しくは9/9（水）の新聞折込みチラシまたはHPをチェック！
◆1階に主寝室があることで、お子様が小さいうちは全て1階で。将来の事を考えても安心です★
◆キッチンから洗面、脱衣室まで一直線と家事動線がシンプル。毎日の家事負担を軽減します！
◆勾配天井で明るく開放的なリビングは、子供室と連続しているのでお互いに気配を感じる事ができます♬
◆小上がりのタタミコーナー、リビング階段、スタディコーナー、たっぷりの収納と他にも子育ての工夫が満載！
各種セミナー同時開催！
株式会社 本多建設　TEL 0238-21-5100　〒992-0047 米沢市徳町7-52　E-mail info@hondahomes.com
WEBで検索！ 本多建設 検索